

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26220101	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	熱帯対流圏界層内大気科学過程に関する力学的・化学的描像の統合	研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在)	長谷部 文雄（北海道大学・大学院地球環境科学研究所・教授）

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は「成層圏流入大気に作用する脱水過程と年齢決定過程を理解する」ことを目的としている。その達成のためにインドネシアにおいて、気球による成層圏の大気観測とサンプルの採取を成功させ、新しい科学的知見を得ており、研究成果は学術雑誌等で公表されている。また、大気観測に際しては、多くの課題を克服し、研究遂行上の貴重な経験を得ており、研究期間後半に実施予定のベトナムにおける水蒸気・オゾン観測の成功が期待できる。研究期間において熱帯成層圏に関する貴重なデータの取得が予想でき、インパクトの大きな成果が期待できる。</p>		